

8月から 70歳～74歳までの 高額療養費の自己負担限度額が変わります

改定内容

- ☆現役並所得者、一般所得者は限度額が下表のとおり引き上げられます。
- ☆一般所得者は1年間(8月から翌年7月まで)の外來の限度額の年間合計額の上限が設けられ、世帯については多数該当が新たに設けられます。

平成29年7月診療分まで

所得区分	外來(個人ごと)	入院・世帯単位
現役並み所得者	44,400円	80,100円+ (総医療費-267,000円)×1% (多数回該当: 44,400円)
一般	12,000円	44,400円
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ		15,400円

平成29年8月診療分～平成30年7月診療分まで

所得区分	外來(個人ごと)	入院・世帯単位
現役並み所得者	57,600円	80,100円+ (総医療費-267,000円)×1% (多数回該当: 44,400円)
一般	14,000円 年間上限 144,000円	57,600円 (多数回該当: 44,400円)
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ		15,400円

☆平成30年8月診療分から、現役並み所得者と一般所得者の自己負担限度額の引き上げが予定されています。

支部研修会開催される

6月8日、建設職能会館において、支部職員出席のもと研修会が開催された。開会に際し、渡辺理事長が挨拶を行った後、加藤副理事長が、「東京建設職能国保組合の現況について」と題しての基調講演を行った。加藤副理事長は、「被保険者は減少傾向にある。一方、医療費は増加傾向にある。被保険者の減少と相まって組合財政は厳しい状況にある。」と説明。

また、被保険者の減少について、このままの割合で被保険者の減少が続けば、10年後は現在の約半分の3000名前後になるとの推測もできる。全国の国保組合の中には被保険者が1000人以下の組合も少なくない。このように、国保組合の経営が危うくなるとは言えないが、財政的な規模が小さくなるため、ひ

とたび予測不能な高額な医療事故が発生すれば大きなダメージとなる可能性がある」と言及し、被保険者の加入促進に理解と協力を求めた。続いて実務研修に移り、「組合員資格の適正化」、「高額療養費の自己負担限度額の改正」等について事務局担当者が各々説明を行った。最後に矢内副理事長が出席者に対して労いの挨拶をして閉会となった。

高齢受給者証を更新しました

高齢受給者証の所得確認にご協力ありがとうございました。有効期限の切れた高齢受給者証は、必ず所属の支部組合に返却いただきますようお願いいたします。



パンチの効いた夏
暑い夏もディズニーランドで
思い出つってみませんか
割引利用券の申請受付中

7/11-8/31, 2017
Tokyo Disneyland
©Disney

平成28年度 事業報告・決算等を承認

被保険者数は依然減少傾向が続き、平成28年度の平均被保険者は6,713人となり、前年度より9%減少した。保険料は据え置いた為、前年度より9%程度減収になったが、国庫補助金は平成26年度に実施された所得調査の結果が反映された事により、一人当たりでみると14%程度増加し、都費補助金については、一人当たりでみると、6%程度減少した。

支出のうち保険給付費は薬価マイナスイ改革等により高額な医療費等が削減され、ジェネリック医薬品や特定健康診査等の事業を奨励した結果、前年度より18%減少した。諸支出金は国庫補助金の精算返還分(平成27年度分)が大きなウエイトを占め、前年度より30%程度増加した。

全体として、平成27年度からの保険料大幅値上げや国庫補助金が増加したことから、平成28年度は若干の保険料値上げも見据えている。

東京建設職能国保組合は、第58回臨時組合会を7月27日(木)午後2時から建設職能会館(新宿区市谷田町)で開催し、組合会議員や理事・監事などが出席し、「平成28年度事業報告」「平成28年度決算報告」「平成28年度決算剰余金の処分」などを審議し、原案どおり承認されました。

建設職能国保組合 第58回臨時組合会

国保だより

国保組合事務局
TEL 03-3260-6441
FAX 03-3260-7534

建設職能国保

歳入歳出決算

歳入	28年度(千円)	27年度(参考)(千円)	対前年比
国民健康保険料	1,165,233	1,281,754	-9.1%
国庫・都支出金	1,047,858	1,034,934	1.2%
繰越金	270,583	171,289	58.0%
前期高齢者交付金	146,547	182,292	-19.6%
高額共同事業交付金	71,406	90,069	-20.7%
その他	8,266	38,729	-78.7%
歳入合計	2,709,893	2,799,067	-3.2%

歳出	28年度(千円)	27年度(参考)(千円)	対前年比
保険給付費	1,316,698	1,610,659	-18.3%
後期高齢者支援金等	391,644	413,263	-5.2%
介護納付金	190,926	196,525	-2.8%
総務費	134,128	160,961	-16.7%
保健事業費	30,751	32,138	-4.3%
高額共同事業拠出金 その他	141,491	114,938	23.1%
歳出合計	2,205,638	2,528,484	-12.8%

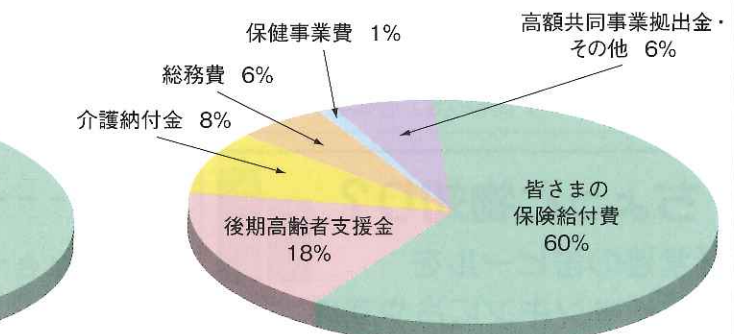
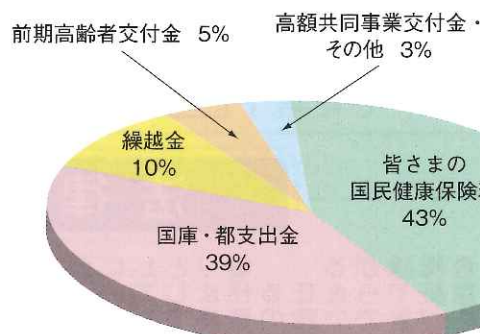
《加入者数》

組合員	2,813人
家族	3,457人
後期高齢者組合員	160人
計	6,430人

(29年6月末現在)

歳入歳出差引額

(千円)	504,255
------	---------



被保険者数(年間平均)

組合員	2,940人
家族	3,773人
前年比較で692人減少	

国民健康保険料

支部と組合員の皆様のご協力
100%収納しました

補助金の状況

療養の給付、後期高齢者支援金などの補助対象事業費に対し、国庫・都費補助金は約10.4億円の収入となり、前年度より約1千万円の増額となりました

平成28年度 事業報告概要

保険給付の状況

収支に一番大きな影響を与える医療費は1人当たり年間費用で195,329円でした

・高額療養費	1,507件
・出産育児一時金	33件
・出産手当金	3件
・葬祭費	20件
・傷病手当金	120件

保健事業

- ・特定健診受診者 1,317人 (受診率33%)
- ・特定保健指導 4人 (同3%)
- ・人間ドック受診者 509人
- ・インフルエンザ補助金 775人
- ・健康家庭表彰 163世帯 (1年間無受診世帯に1万円のギフト券を贈呈)
- ・出産した28世帯に月刊誌「赤ちゃん和妈妈」を贈呈
- ・救急絆創膏を全世帯に配布
- ・医療費のお知らせを、5月と9月に受診した世帯に送付
- ・ジェネリック医薬品差額通知を年3回実施

建設職能国保 のご案内

建設職能国保は、東京都内の事業所において
大工・とび・鉄筋・土木・造園・電気・塗装・
電気・内装など建設事業に従事している方が
加入している国民健康保険組合です



建設事業で働く皆様、建設職能国保へ加入しませんか
ご自身の健康をしっかりとサポートいたします
建設職能国保には魅力的な事業がいっぱいあります
東京建設職能国保健康保険組合
03-3260-9441
組合ホームページ
<http://www.senshoku-kosunko.or.jp/>

加入促進活動にご協力をお願いします！ お仕事仲間・お友達を紹介してください。

本部と支部が協力して加入促進用リーフレットを配布しております。
(当組合の事業等を載せてあります)

こんなときにご活用ください

- ✓ 現場で健康保険の話題になったとき
- ✓ 同業者の会合や会議のとき
- ✓ 外回り等営業活動のとき

当組合の保険料は
業態（事業主・従
業員）と年齢によっ
て決まります。

所得で保険料は
変わりません。

加入できる職種

- ・とび
- ・大工
- ・鉄筋業
- ・土木
- ・造園業
- ・板金業
- ・内装業

等



皆さんの健康を
サポートするための
事業がいっぱいあるよ

◆がん郵送検診の実施

満40歳以上の組合員や家族の方はがん（大腸が
ん、子宮頸がん）の検査を無料で受診できます

◆人間ドックの助成金の実施

組合員や家族の方が受診したとき
年度内1回20,000円を限度に補助
※加入資格が1年未満の方は支給されません



リーフレットを追加でのご希望や紹介方法、または加入条件などご不明な点があるときは、
お気軽に所属の支部組合または本部までお問い合わせください。